

## ◆獲物のあるビオトープの今

「ビオトープ・イタンキ」は2011年4月に造成を終え8シーズンを経過しました。3年ほど続いたドクガの大発生も治まり全体としては順調に推移していると言えます。

ビオトープは、中心部の草地、それを取り巻く水路、さらに外側の植樹帯と、狭い範囲ではありますが、いくつもの特徴的な生態系が組み込まれています。植樹帯は海岸林の再生を目指して、この地方の海岸林を構成する潮風に強い樹種の実生苗を育成して植樹してきました。潮風最前線への定植は2005年にスタートし、初期のものは5mほどに育ち、カシワ、ミヤマハンノキ、エゾノコリンゴなどの「小さな林」が出現しました。

新たに生まれた林床にはフクジュソウ、エンレイソウ、エゾエンゴサク、ナニワズなど多くの林床植物の導入・増殖を進めていますが、林床へのイワミツバ、草地へのノラニンジン等の侵入も目立ちます。2年ほど前からエゾシカの食害も目立つようになり、今後厄介な問題になっていきそうです。

大勢の子ども達が嬉々として魚や虫を追う「獲物のあるビオトープ」での自然体験学習は、子ども達の目を「自然界」に向けさせ「科学」へと導く大きな力になると考えていますが、児童数の減少、学校の統廃合の影響を受けて、授業としての来訪数が伸び悩んでいます。

昨春の教育委員会経由でのPRプリントの配布に続き、今年は「港ふるさと体験学習」の制度への組み込みを働きかけています。

ビオトープに関する活動は全国的に様々な活動が行われていますが「獲物がある・・・」と謳って活動している例を知りません。これからも子ども達の心に残るビオトープの活動を続けていきたいと思っています。(大西 勲)

### ◆お願い◆

<黄色いレシート運動に参加しています>

「イオン」では、毎月11日に黄色いレシートを発行しています。1階に設置している市民団体のポストにそれを入れることで、そのポストに入った金額が、その市民団体の活動に寄付される仕組みになっています。「イオン」での買い物は11日に、黄色いレシートは、「ビオトープ・イタンキ」のポストにお願いいたします。



## NPO 法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭

室蘭市輪西町2丁目12-5 理事長 大西 勲 TEL 090-8637-8725

e-mail: ohie\_biotop\_itanki@yahoo.co.jp <http://biotop-itanki.jpn.org/>